

原告被爆状況一覧表

原告番号 市56

氏名	
生年月日	
性別	女
被爆時年齢	16歳
申請日	2018(平成30)年2月27日
原処分日	2018(平成30)年6月28日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年6月29日ころ
被爆した時の状況	<p>1945(昭和20)年8月6日朝、学校へ行く途中で、「空襲警報だから生徒は自宅へ帰りなさい。」と連絡を受け、自宅近くの広場で、近所の人達が麦の出荷準備をしていたのを見ていたところ、突然、空が明るくなって閃光がピカッと光り、その後ドーンと今まで経験したことのない大きな音がした。</p> <p>その後、空がだんだん真っ黒な雲でおおわれてきて、雨がパラパラと降り出したので、濡れながら、自宅横から200段以上の急な階段を走って自宅に帰った。白いブラウスが黒くよごれた。また、雨と一緒に、焼け焦げた紙切れや封筒が飛んで来たのえ、拾ってみたりした。</p>
健康状態	<p>1946(昭和21)年ころから、めまいがして倒れることが2~3回あった。</p> <p>30年以上前から、クリニックでメニエル病の薬を処方してもらっている。</p>

原告被爆状況一覧表

原告番号 市57

氏名	
生年月日	
性別	女
被爆時年齢	11歳
申請日	2018(平成30)年2月26日
原処分日	2018(平成30)年6月28日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年6月29日頃
被爆した時の状況	<p>原爆投下当時、原告は11歳で、当日は近所の児童11人で、加計町津浪アサデという場所に「むしお」を探りに行っていた。作業中に、突然ピカッと光り地響きするような大きな音がした。あたりは薄暗くなり子供心にも不安で近くのトンネルにかがみ込んでいたが、帰ろうと言って黒い雨の降るなか歩いて帰った。の自宅までは、2.5kmくらい距離があり黒い雨でびしょびしょになった。帰宅してから裏山の畑に出たが、まだ雨が降っていて雨以外にも焼けた紙などがたくさん降ってきた。</p>
健康状態	<p>1. 急性症状について 黒い雨を浴びた後、鼻血がよく出るようになった。</p> <p>2. その後の健康状態について 虫垂炎、狭心症、胃がん、腸閉塞、脊髄狭窄症を患った。</p>

原告被爆状況一覧表

原告番号 県21

氏名	
生年月日	
性別	男
被爆時年齢	12歳
申請日	2018(平成30)年3月23日
原処分日	2018(平成30)年6月14日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年6月15日ころ
被爆した時の状況	<p>1945(昭和20)年8月6日、朝から学校の指示で、「むしお」という植物を探りに、同級生5人くらいで山に行こうとしていた。原告の自宅の北側の山道に入り歩き始めたときに、南東方向から突然ピカッと光った。続いてドオンと地響きする音がした。その後、よく晴れていた空が、急に黒く曇りはじめた。また、焼け焦げた紙切れが少し落ちてきた。山へ行くのをやめて、原告の自宅の縁側に行って、雲の様子を見ていた。そのあとで雨が降り始め、また、紙も一緒に落ちてきた。原告は家にいたので、母親から洗濯物を入れるのを手伝ってくれと言われて、雨に濡れながら洗濯物を取り込む手伝いをした。その後、雨は大降りになったり、小降りになったり、少しやんだりしながら、午後2時ころまで雨が降っていた。また、雨が止んでからも紙類がいろいろを飛んできた。焼け焦げた新聞紙や本や雑誌や書類のようなものが飛んできたので、拾ってみたことを覚えている。</p>
健康状態	<p>37歳ころから、左の眼が悪くなり、中心性網膜炎を発症したと診断され、病院で手術を受けることになった。60歳くらいになってから、眼が悪くなり、眼底が濁っていると診断された。その濁りはとれないと言われた。また、その医師から可部の方に住んでいる人は、このような症状の人が多いが、千代田でも患者を診ているが、このような症状の人は少ないと言われた。</p> <p>その後、平成27年3月10日に脳梗塞で倒れた。病院に10日間入院した。その後、毎日薬を飲むようになった。</p>

原告被爆状況一覧表

原告番号 県22

氏名	
生年月日	
性別	女
被爆時年齢	21歳
申請日	2018(平成30)年3月7日
原処分日	2018(平成30)年5月24日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年5月25日ころ
被爆した時の状況	1945(昭和20)年8月6日、原告が母と一緒に家の畑で草取りをしていたときに、稲光のようにピカッと明るく光り、大きなバカーン音がして、それから空から紙きれが飛んできた。それでも、草取りを続けていたところ、黒い雨が降ってきた。それで、家に帰って、干していた洗濯物を家の中に入れた。それから、雨が降っているのので、家に入った。着ていた服にも雨がかかり、黒くなった。着替えて洗濯しても黒い汚れは取れなかった。
健康状態	原告が50歳くらいの時から、糖尿病になっている。そのため、糖분을控えるような食生活を続けてきた。現在も糖尿病の治療を続けている。

別紙

原告被爆状況一覧表

原告番号 県23

氏名	
生年月日	
性別	男
被爆時年齢	3歳
申請日	2018(平成30)年3月23日
原処分日	2018(平成30)年6月14日
処分があったことを 知った日	2018(平成30)年6月15日ころ
被爆した時の状況	家の前で遊んでいた。 その後、父から、8月6日に雨が降ったことを聞いた。
健康状態	蓄膿症、白内障

原告被爆状況一覧表

原告番号 県24

氏名	
生年月日	
性別	男
被爆時年齢	5歳
申請日	2018(平成30)年3月23日
原処分日	2018(平成30)年6月14日
処分があったことを 知った日	2018(平成30)年6月15日ころ
被爆した時の状況	当時、 に住んでいた。 1945(昭和20)年8月6日、家の中にいたところ、窓のほうからピカッという光が差してきた。家から外を見ていると、大きなきのような形の雲がどんどん大きくなってるのが見えた。しばらくして、空から紙切れのようなものが降ってきたので、小学校の校庭に紙切れを拾いに行ったところ、雨に降られた。
健康状態	60代のころ、狭心症で1日入院 64歳ころ、悪性リンパと診断され、手術をうけ、3か月入院 65歳ころ、白内障(右眼は当時手術し、左眼は昨年手術) 74歳ころ、うっ血性心不全と診断され、9日間入院 現在、クリニックに月1回通院し、1日3度薬を服用している

原告被爆状況一覧表

原告番号 県25

氏名	
生年月日	
性別	女
被爆時年齢	7歳
申請日	2018(平成30)年2月26日
原処分日	2018(平成30)年5月24日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年5月25日頃
被爆した時の状況	<p>投下当時、原告は7歳で、 の庭で、母とおんぶされている妹 私の4人で話をしていたところ、突然雷が落ちたのかと思うほどの大きな音がした。 それからどのくらいたったのかわからないが、空が赤やら黒やらに染まり、焼け焦げた紙などが落ちてきた。落ちてきたものを拾おうと追いかけたところ、母から「何が起きるかわからないので、やめなさい」と言われた。庭に干してあった洗濯物が黒く染まった。</p>
健康状態	<ol style="list-style-type: none">急性症状について 一緒にいた母は貧血がひどく、しばらくの間寝てばかりだった。 原告については記憶がない。その後の健康状態について 平成9年ころから高血圧・糖尿病を患っている。 加えて、狭心症でカテーテル治療を受けている。

原告被爆状況一覧表

原告番号 県26

氏名	
生年月日	
性別	女
被爆時年齢	0歳8ヶ月
申請日	2018(平成30)年2月26日
原処分日	2018(平成30)年5月24日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年5月25日頃
被爆した時の状況	<p>原爆投下当時、原告はまだ8ヶ月で記憶はないが、姉から聞いたところでは、当日は自宅の隣家の庭で母におんぶされて、母と隣家のおばさんと姉の4人で話をしていたところ、突然雷が落ちたのかと思うほどの大きな音がした。それからどのくらいたったのかわからないが、空が赤やら黒やらに染まり、焼け焦げた紙などが落ちてきた。落ちてきたものを拾おうと姉が追いかけたところ、母から「何が起きるかわからないので、やめなさい」と言われた。庭に干してあった洗濯物が黒く染まった。</p>
健康状態	<p>1. 急性症状について 発熱がよくあった。</p> <p>2. その後の健康状態について 中学校の入学式の日、突然目の前が徐々に暗くなり始め意識が無くなり、入学式は欠席した。その後、何度も同じようなことがあったが、自然に治った。 47歳の時に、乳がんになり左乳房全切除手術をした。 高血圧の薬を服用している。</p>

原告被爆状況一覧表

原告番号 県27

氏名	
生年月日	
性別	男
被爆時年齢	9歳
申請日	2018(平成30)年2月26日
原処分日	2018(平成30)年5月24日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年5月25日ころ
被爆した時の状況	<p>1945(昭和20)年8月6日は、夏休み中の登校日で、原告が通学していた。小学校では、ヨモギ、ワラビ、ゼンマイ等の食草を供出のために採草する予定が組まれており、原告ら約50人の男子生徒は、先生らに引率され、午前8時ころ、隊列を組み学校を出て、行進しながら食草が生えている場所に入って採草していた。吉ヶ瀬から筒賀村に入り、向光石に差し掛かったころ、突如強烈な閃光とドンと響く爆音がした。食草採取は中止され、全員学校へ帰り、校庭に集合した。友達と校庭にいと、しばらくして、空からたくさん紙などが落ちてきた。生徒はそれを拾おうとしたが、先生が、宣伝ビラかもしれないと言い、それを禁じたが、面白がって拾うのをやめようしない生徒もいた。また、坪野の方の空がどんよりと曇ってきて、雨が降り始めた。友達や自分の白いシャツに黒っぽいしみがついており、雨の色が黒かった。雨脚は強くな、30分程度で止んだ。</p> <p>その後、毎日のように遊んでいた太田川へ泳ぎに行った。そして、いつものように、側へ渡り、河原で遊んだ。</p> <p>午後は、野草を持って行った。翌日も行った。</p> <p>自宅の水路で米を研ぐなど、水路の水を生活用水として利用していた。</p>
健康状態	<p>急性症状については、記憶にない。</p> <p>その後の健康状態について、平成15年ころ、体調を崩し、病院へ一ヶ月入院し、検査を受けたところ、パーキンソン病の診断を受け、以降、闘病生活を送っている。</p>

原告被爆状況一覧表

原告番号 県28

氏名	
生年月日	
性別	女
被爆時年齢	4歳
申請日	2018(平成30)年2月26日
原処分日	2018(平成30)年5月24日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年5月25日ころ
被爆した時の状況	<p>1945(昭和20)年8月6日、原告は、祖母 [] が田の様子を見る際に、姉 [] と連れられて、自宅付近の田に行き、祖母 [] は、田の様子を見ていた。そのとき、原爆が投下された。爆風で、自宅 [] の窓ガラスや障子が壊れた(若干の修繕をただけで、原告ら家族は数年間生活した。)。父勤は出征中で自宅にはおらず、自宅にいた母 [] は、原告や姉 [] が爆風で飛ばされたのではないかと不安になり、必死に探した。ようやく原告らを見つけ自宅に帰り着いたころ、空に浮遊していた紙などが落ちてきた。また、雨が降ってきた。雨の色は黒色で、干していた洗濯物に黒いしみがついた。</p> <p>母 [] は、翌日(8月7日)、母の実父 [] を探しに行ったが、見つからず、実父は行方不明のままである。原爆投下後、被爆し負傷した人たちが自宅近くの [] 小学校へ収容された。母 [] は毎日、救護・介護に当たった。</p> <p>飲料水や生活用水は、家族全員、古川の水を使って生活した。</p>
健康状態	急性症状については、記憶にない。その後の健康状態については、2017(平成29)年に大腸のポリープの摘出をした。その後は毎年検査を受けている。

原告被爆状況一覧表

原告番号 県29

氏名	
生年月日	
性別	女
被爆時年齢	14歳
申請日	2018(平成30)年2月26日
原処分日	2018(平成30)年5月24日
処分があったことを 知った日	2018(平成30)年5月25日ころ
被爆した時の状況	<p>当時、 暮らしていた。1945(昭和20)年8月6日午前8時過ぎに同級生らと「むしお」を探りに、「澄合橋」を渡っていると突然ピカッと光りその後地響きするような大きな音がした。B29が爆弾を落したのでないかと噂をした。先生に今日は家に帰りなさいと言われ帰ってから外で遊んでいると空から基町の学校の図画やノートなどたくさん落ちてきたので拾い集めた。そのうち雨が降り始め、服に黒い汚れがついた。</p> <p>午後からは広島から大勢の被爆者が歩いて帰ってきて、自宅の縁側で休憩された。その際お茶を出したりした。夏休み期間中、広島から帰る被爆者のお茶くみと荷物送りの手伝いをした。</p>
健康状態	<p>椎間板ヘルニアと左右変形性膝関節症により歩行困難で整形外科でリハビリをしている。又、胆のう炎の手術をし、便秘で内科に通院している。右眼の視力がほとんどない。</p>

原告被爆状況一覧表

原告番号 県30

氏名	
生年月日	
性別	男
被爆時年齢	10歳
申請日	2018(平成30)年2月26日
原処分日	2018(平成30)年5月24日
処分があったことを知った日	2018(平成30)年5月25日ころ
被爆した時の状況	<p>昭和20年8月6日朝、勤労奉仕のため、学校(現在の山県郡安芸太田町)へ登校し、教室で先生が生徒の出席を取っていた。その時、突然、ピカッと青いような光がして、その後、ドーンと大きな音がして、校舎のガラスががたがたふるえた。直ぐに先生の指示で裏山の竹藪の中へ避難した。何事もないので、解散になった。</p> <p>県道を通って4~5人で自宅に帰る途中、だんだん黒い雲がでてきて、空が暗くなり、畳がちぎれて焦げたものとか、紙切れなどが落ちてきたので、拾ったりした。パラパラと雨が降りだしたので、雨に濡れて帰った。上に着ていた肌着が雨に濡れてしまったので、自宅に帰ってから農業用水路で肌着を洗って干したが、肌着に黒い筋のようなものがついていた。</p> <p>当時は、自然に流れる水を飲んでおり、原爆投下直後も同じように自然に流れる水を飲んだりして生活をしていた。</p>
健康状態	10年前くらいに便秘が続いて、 病院で直腸癌と診断され、手術した。

原告被爆状況一覧表

原告番号 県31

氏名	
生年月日	
性別	女
被爆時年齢	12歳
申請日	2018(平成30)年2月28日
原処分日	2018(平成30)年5月24日
処分があったことを 知った日	2018(平成30)年5月25日ころ
被爆した時の状況	<p>昭和20年8月6日朝、 学校6年生だった原告は、 勤労奉仕のため、 学校(現在の広島県山県郡安芸 太田町)の校庭に集まっていた。突然、ピカッと 光った後、ドーンと大きな音がした。 すぐに、国民学校の上流にあった田(現在の 病院 のあたり)の草取りに行った。田の草取りをしていると、空から 焼け焦げた紙切れがどんどん降ってきたので、捨ったりした。 真っ黒い雲が山の向こうからのぼり、空一面が暗くなって、紙 と一緒に雨がパラパラと降り出した。田の草取りの最中に「ユ ガヤ」を見つけては、その球根を田の泥水で洗って、手で皮を 取って実を食べた。お昼をはさんで、夕方頃まで勤労奉仕は 続き、雨はその間降ったりやんだりしていた。</p>
健康状態	<p>平成19年2月6日、 病院で、右乳ガンの手術を受 け、20日間くらい入院した。また、足に痛みが出始めている。</p>